

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和5年6月5日(2023.6.5)

【公開番号】特開2023-14342(P2023-14342A)
 【公開日】令和5年1月26日(2023.1.26)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-016
 【出願番号】特願2022-193552(P2022-193552)
 【国際特許分類】
 A 6 3 F 7/02(2006.01)
 【F I】
 A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

10

【手続補正書】
 【提出日】令和5年5月26日(2023.5.26)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

20

遊技領域が形成されている遊技盤を備え、前記遊技領域を流下する遊技球が入球可能な入球手段が設けられている遊技機であって、
前記入球手段に入球した遊技球を検知可能な検知手段と、
前記検知手段により遊技球が検知された場合、所定情報を取得可能な取得手段と、
前記所定情報を記憶可能な記憶手段と、
前記記憶手段に記憶されている所定情報に基づいて遊技者に特典を付与することの付与判定を実行可能な手段と、
前記記憶手段に記憶されている所定情報が、前記付与判定の対象となるよりも前に、当該付与判定の対象となった場合の情報を特定可能な先特定手段と、
前記先特定手段による特定の結果に基づいて特定報知を実行可能な特定報知手段と、
遊技者によって操作される操作手段と、
前記検知手段により遊技球が検知された場合に、当該遊技球が検知される前の所定の期間中に前記操作手段の所定操作が行われていたことの判定を行うことが可能な手段と、
前記所定の期間中に前記所定操作が行われていない場合に、前記検知手段による検知に基づいて取得される所定情報についての特定報知の態様を第1態様にて実行可能な手段と、
前記所定の期間中に前記所定操作が行われている場合に、前記検知手段による検知に基づいて取得される所定情報についての特定報知の態様を前記第1態様とは異なる第2態様にて実行可能な手段と、
前記所定の期間中に前記所定操作が行われていない場合に、前記検知手段による検知に基づいて取得される所定情報についての特定報知の態様を前記第2態様にて実行可能な手段と、
を備えていることを特徴とする遊技機。

30

40

【手続補正2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0006
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0006】

50

本発明は、
遊技領域が形成されている遊技盤を備え、前記遊技領域を流下する遊技球が入球可能な入球手段が設けられている遊技機であって、
前記入球手段に入球した遊技球を検知可能な検知手段と、
前記検知手段により遊技球が検知された場合、所定情報を取得可能な取得手段と、
前記所定情報を記憶可能な記憶手段と、
前記記憶手段に記憶されている所定情報に基づいて遊技者に特典を付与することの付与判定を実行可能な手段と、
前記記憶手段に記憶されている所定情報が、前記付与判定の対象となるよりも前に、当該付与判定の対象となった場合の情報を特定可能な先特定手段と、
前記先特定手段による特定の結果に基づいて特定報知を実行可能な特定報知手段と、
遊技者によって操作される操作手段と、
前記検知手段により遊技球が検知された場合に、当該遊技球が検知される前の所定の期間中に前記操作手段の所定操作が行われていたことの判定を行うことが可能な手段と、
前記所定の期間中に前記所定操作が行われていない場合に、前記検知手段による検知に基づいて取得される所定情報についての特定報知の態様を第1態様にて実行可能な手段と、
前記所定の期間中に前記所定操作が行われている場合に、前記検知手段による検知に基づいて取得される所定情報についての特定報知の態様を前記第1態様とは異なる第2態様にて実行可能な手段と、
前記所定の期間中に前記所定操作が行われていない場合に、前記検知手段による検知に基づいて取得される所定情報についての特定報知の態様を前記第2態様にて実行可能な手段と、
を備えていることを特徴とする。

10

20

30

40

50